

学年だより

スクラム

令和2年9月10日発行
第7号
大門中学校 第1学年

ひとの役に立つ人間になりなさい。 徳は才に勝る。

1学期最後の日、1学期を振り返る学年集会がありました。そこで、山口学年主任より「人の役に立つ行動をしましょう。」との話がありました。

韓国のある家庭に「人の役に立つ人間になりなさい。徳は才に勝る。」という家訓があるそうです。これは、「人の役に立つ行動を重ね、人徳のある人間になりなさい。その人徳は、どんな才能よりも優れている。」という意味です。6人の子供がこの家訓で育ち、長女が大学教授、長男がハーバード大学院副学長、三男が国務次官補、次女がロースクール学長等、全員が世の中をリードする職に就いたとのこと。

(コ・ジョン・ハン 著 蓮池薫 訳 『人の役に立つ人間になりなさい。徳は才に勝る。』より)

コロナ不況と言われる中、自動車販売で業績を伸ばしている会社の方針に「企業が成長し、より多くの税を納め、世の中の役に立つ。」というのがあるそうです。最近では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク製造などで他の企業に、自社のもつ技術やノウハウを無償で提供する活動をしていました。また、アメリカの大富豪は、新年の家族会議で、「どこにどれだけの寄付をするのか？」を話し合うそうです。



朝の生徒会あいさつ運動(奥)とボランティア清掃を終えたバレーボール部

本校でも、「人の役に立つ」活動がたくさん見られます。先日、あいさつ運動をしている2年生が、雨に濡れながら玄関に向かう1年生に、傘をさしてくれる姿を見ました。先週行われた運動会に向けて、相撲体操やよさこいをはじめ、さまざまな場面で、先輩たちが、1年生のために熱心に指導してくれました。「大門中を県で1番のあいさつができる学校にしよう」と、生徒会のメンバーを中心にあいさつ運動を行っています。さらに、女子バレーボール部は、毎朝、校地内のボランティア清掃をしています。計算学習への取組で、教え合い学習を行ったところ、「結果的には、教える側の成績が向上した。」という話もあります。

学年内でも、学年生徒会をはじめ、このような「人の役に立つ」行動がみられるようになってきています。この流れが学年全体に行き渡り、大きな成果を上げることを願ってやみません。

9月の行事

12日(土)・13日(日) 市科学作品展 (救急薬品市民交流プラザ ふれあいホール)	17日(木) 校内写生大会 12日(土)、13日(日)、19日(土) 20日(日)、21日(月)	地区新人大会
(お知らせ) 5月以降、実施を検討しておりました1年生の宿泊学習ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しないこととなりました。		

「第50回運動会」を終えて

- ◎ 僕が一番思い出に残ったことは、応援合戦です。どの団も衣装が格好よかったし、熱い気持ちが伝わってきました。特に心に残っているのは、黄団の太鼓です。音と一緒に力強さが伝わり感動しました。
- ◎ 運動会で感じたことは、一つの目標に向かっていくことが大切だということです。今でも心に残る先輩の言葉があります。「悔しくないと言ったらウソになりますが、僕は今、すがすがしい気持ちです。みなさんにも、何かを成し遂げた達成感を味わってほしいです。」という言葉です。勝つことが全てじゃない。みんなで成し遂げた先に感じるものがあることを学びました。
- ◎ 応援コールをした時、団席まで赤団の情熱が伝わってきました。解団式で、リーダーのコメントがありました。先輩が涙を流しているような気がしました。その涙・笑顔・瞳が輝いて見えました。女子の先輩が、「みんなの応援、聞こえてたよ。」と言ってくれてすごく嬉しくなりました。
- ◎ リレーの選手に選ばれたのが初めてだったので、とても不安でした。練習でバトンパスがうまくいかず、もっと不安になりました。自分なりにトレーニングをしました。本番では、第1走者だったので、とても緊張しました。私は3位でバトンを渡しました。全力で走ったけれど、悔しかったです。でも来年も選手になりたいと思いました。来年は1位でバトンを渡したいです。
- ◎ 運動会で一つ、反省点があります。テントにいた時、友達と話をしていた、先輩や先生に注意されたことです。来年は、後輩の手本となり、こういった注意をされないように心がけたいです。次の運動会は、コロナが収まり、全ての競技ができ、より笑顔で、楽しく、よい思い出をつくりたいです。



- ◎ 一つ一つの競技にかける先輩の思いに感動しました。みんなで応援したリレーでは、真剣に走る選手がすごくカッコよくて、自分も「素敵だ」と思われる先輩になりたいと思いました。部活動でお世話になっている先輩方が、「台風の目」での結果をすごくほめてくださり、「白団の一員としてがんばろう！」と思いました。

- ◎ 盛り上がったのはリレーです。学年対抗や団対抗だけでなく、3年生のディスタンスリレーもです。どの団も、追い抜いたと思ったら、追い抜かれたなど、とても接戦でした。しかし、そういう状況だからこそ、みんなが熱くなり、言葉を交わさなくても一体感が生まれました。団には、話したことがない人ばかりでしたが、だからこそ、一つになった時は、とても嬉しく、楽しいと思いました。

- ◎ 私が出した種目で、一番がんばったのはよさこいです。本番では、練習の時より声を出すことができました。しゃがむところや手を伸ばすところをしっかりと、全員で動きを合わせることでできたのでよかったです。

